

只見線復活を
熱意をもって支え
今は案内する側に。

おおし ともし
大越 智貴 さん(30代)

<金山町>

団体職員
(就業)

2021年 Iターン



大好きな金山町にIターン

『会津地域の中でも「奥会津」と呼ばれる地域にある金山町。人口約1,800人、高齢化率約54%の過疎が進む町です。2011年新潟・福島集中豪雨によりJR只見線が被害を受けましたが、2022年10月1日、11年ぶりの全線運転再開が実現しました。ローカル路線が全国に与えた影響は大きく、再開通から現在まで多くの人々がその復活の路線を楽しんでいます。』

小さな頃から家族で奥会津に遊びに来ていたという大越さん。只見線との関わり、移住のきっかけ、金山町での仕事や住んでみて発見した魅力など、ご自宅にお伺いして取材しました。』

取材日 2022年11月9日

移住のきっかけと仕事のこと

<移住のきっかけ>

直接のきっかけは金山町で安定して働ける環境ができたことです。

もともと小学校の頃から家族で奥会津に遊びに来ていました。只見線も好きですし、奥会津ののどかさが好きで、漠然とですがいつかは住んでみたいと思っていました。

社会人になっても只見線に乗って奥会津に通っていました。たぶん、私ほど只見線に乗った人はいないと思います。通ううちに奥会津の地元の方々や只見線が好きな方もたくさん知り合い、仲良くなりました。

何年かはそのような関係で関わっていたのですが、ちょうど仕事を探していた時に金山町を中心にした「奥会津かねやま福業協同組合(通称:かね福)」が立ち上がり、金山町で働ける土台ができたのです。自分とのタイミングがピッタリ合ったこともあり、何も迷うことなくすぐに応募して採用になることができました。

<金山町での仕事>

かね福では団体職員という立場になります。月20日間、1日8時間の労働が基本です。仕事は金山町にある協同組合員のところに派遣職員として勤務します。業種は建設会社、地元の工場、船の船頭、キャンプ場、日帰り温泉のフロント、ガソリンスタンドなど様々です。資格が必要なものは町が補助をしてくれますし、いろいろな仕



事に関わることで自分のスキルが上がっていくのが楽しいので、私には合っています。金山町に来なければ船頭になることもなかったでしょうし、車のオイル交換が出来るようになることはなかったと思いますから。

ただ、只見線が全線開通してからは休みの日も取材対応などが増えて、とても忙しかったです。今までは奥会津に癒されていましたが、今度は私がPRしていく立場になりましたので金山のために頑張りました。冬は少しのんびりしたいです。

金山町での暮らしと魅力

<金山町の暮らし>

金山町が管理している「定住促進住宅」に住んでいます。奥会津に長く通っていたので、環境なども知っていましたし、住み心地はとていいです。

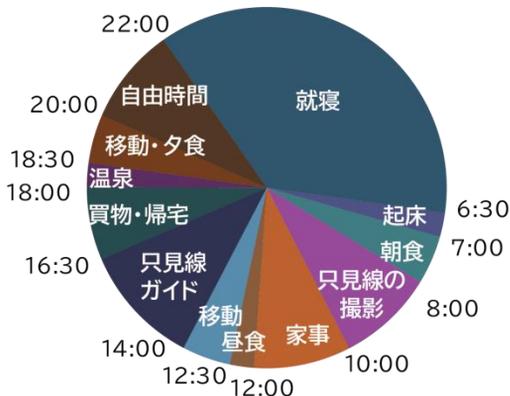
金山町に住んでから、干し柿を作ったりしています。ここではみんなが素朴なものでシンプルに生きている感じがしています。手間のかかるものでも作り方を教えてくれる人がいますので、今は凍み大根作りに興味があります。奥会津を深ぼりしていきたいです。

金山町に住んで一つ困ったのがゴミ出しです。ペットボトルの回収が、なんと、月に1回なんです。しかも



大越さんが好きだという集落の風景

ある一日のスケジュール



1月～3月の冬期間は収集なしです。最初はペットボトルを溜めてしまっていて大変でした。今は水筒でお茶を持っていくなど、ペットボトルを出さない工夫をしています。住む地域が変わるとゴミの出し方も変わるので事前に確認した方がいいと思います。

買い物は休みの日にまとめ買っています。近くのコンビニまでは片道約30キロですので車は必須です。

心配する方が多い雪ですが、金山町はこまめに道路を除雪してくれますし、とても丁寧です。ただ、雪道の運転に慣れるということはないので十分気を付ける必要があります。稀にホワイトアウトになることもありますし、濡れ雪の時は滑りやすいので只見川沿いは気を付けて走る必要があります。

あと、私は挨拶が大事だと思っているので自分から先にするようにしています。挨拶一つで仲良くなれることも多いので、田舎暮らしの基本だと思います。

<金山町の魅力>

自然に囲まれていて、時間がゆっくり流れていてセカセカしていないところが魅力です。水も美味しいですし、野菜も美味しいです。仕事が終わって毎日温泉に入りに行きますが、知り合いに会うと私の事を気にかけてくれます。そんな人が町の中にいっぱいいることが嬉しくなります。

私にとってはストレスなく生きていけるのが金山町だと思います。

大越さんの行動歴

郡山市生まれ ⇒ 金山町(就職)へ

移住を検討している方にアドバイス

まず気になる場所に通うこと。そして知り合いや友達を作るなど基礎が出来てから移住すると失敗がないと思います。



野菜などを洗う水場が今も健在の集落

現住人口 1,837人 男性/898人 女性/939人

面積 293.92平方キロメートル

標高 海拔 306.6m(金山町役場)

最寄駅 JR只見線「会津川口駅」

最寄IC 磐越自動車道「会津坂下IC」

保・幼・こ 認可保育所 2か所

小学校数 公立 2校

中学校数 公立 1校

高校数 公立 1校

病院数 診療所 1か所

町の特徴 町の特産品である赤カボチャや沼沢湖のヒメマスなど、ここだけの素材が光る地域である。世界でも珍しい軟水の天然炭酸水「奥会津金山 天然炭酸の水」は、サミットなどのテーブルウォーターになるなど、日本を代表する天然水となっている。

**移住
サポート
窓口**

金山町役場(企画課)
金山町ホームページ
<https://www.town.kaneyama.fukushima.jp/site/ijyuu/>
電話:0241-54-5203
メール: kikaku@town.kaneyama.fukushima.jp

